

「新広域道路交通ビジョン・新広域道路交通計画」
の市町村意見募集・パブリックコメント等の結果

1 パブリックコメント

1) 意見募集期間

令和3年3月29日（月）から令和3年4月28日（水）まで

2) 提出された御意見の件数

計 2名4件

3) 御意見等の概要及び県の考え方

	御意見の概要	県の考え方
1	<p>R121号の高規格化希望</p> <p>東北自動車道のリダンダンシー確保、喜多方、会津若松と山形全域の交流が活発化され、経済圏が広がるなどの効果が期待できるため。</p>	<p>大規模災害等における東北自動車道等のリダンダンシーは、現在の国道121号により確保されていると考えております。</p> <p>また、喜多方、会津若松と山形全体の交流の活発化も重要と考えていますので、現在の国道121号がより確実なものになるよう、必要な対応を行ってまいります。</p> <p>なお、頂いた御意見につきましては、今後の社会事情の変化に応じ検討して参ります。</p>
2	<p>コロナ禍関連の状況も含めた策定の背景の再整理</p> <p>コロナ禍により人々の移動が制限されていること、インバウンドも激減していることから、コロナ禍の克服を見据えた対応ができるような策定の背景の整理をしてほしい。</p>	<p>広域的な交通の課題と取り組みの中で、コロナ禍でも大型車交通について一定の需要があることを取り上げました（ビジョンP24）。</p> <p>また、コロナ禍が収束した後、観光需要は回復すると考えておりますが、頂いた御意見を踏まえ、今後の社会情勢の変化に応じ、適宜見直してまいります。</p>
3	<p>ETC2.0の活用</p> <p>ETC2.0を活用し、ドライバーに事前に危険個所の情報をいち早く提供し安全運転を支援する仕組みについて早期実現を希望</p> <p>東北中央道でもガソリンスタンド利用のために一時退出しても目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と同じ料金で継続利用できる制度の適用をお願いしたい。</p>	<p>頂いた御意見につきましては、今後のICT交通マネジメントを推進する上での参考とさせていただきます。</p>
4	<p>文言の統一等</p> <p>一部のデータ等において、文言が統一されていない箇所がある。</p>	<p>御意見の内容を踏まえ修正します。</p>

2 市町村意見募集

1) 意見募集期間

令和3年3月22日(月)～令和3年4月16日(金)

2) 提出された御意見の件数

計 2市5件

3) 御意見等の概要及び県の考え方

	市名	御意見の概要	県の考え方
1	山形市	一般広域道路の説明 「部分的に改良等を行っていくことを基本とする」を「部分的な改良やバイパス整備等を行っていくことを基本とする」に修正してほしい(計画P5)。	「改良等」にバイパス整備も含まれます。
2	山形市	構想路線について 一般広域道路に対する構想路線を示してほしい。特に、山形市山寺地区と仙台市作並地区を通る道路整備ルートを構想路線として位置づけてほしい。記載がない場合は、その理由や考え方を注釈のような形で示してほしい(計画P7)。	ビジョン P57 を踏まえ、計画 P6 に記載しておりますとおり、構想路線は、「高規格道路」としての役割が期待される路線であることから、一般広域道路に対する構想路線は持ちあわせておりません。 山形市と仙台市とを結ぶ道路として、国道48号(起点:仙台市、終点:山形市)を一般広域道路に位置付け、現道の特に課題の多い区間について、必要な改良等を行うこととしております。
3	山形市	防災道の駅について 「防災道の駅」整備後に、県の防災計画等に位置付けるとあるが、整備前に、県の防災計画等に「防災道の駅」への位置づけが必要ではないか。(計画P11)	御意見の内容を踏まえ修正します。
4	山形市	専門用語の説明 専門用語に注釈、用語集などの整備をお願いしたい。	御意見の内容を踏まえ追記します。
5	鶴岡市	防災道の駅の追加 防災道の駅整備検討箇所に関今後整備予定の道の駅あつみを入れてほしい(計画P12)。	御意見の内容を踏まえ、関係機関と調整のうえ修正します。

3 有識者・関係行政機関からの主な御意見

1) 意見聴取期間

令和3年3月1日(月)～令和3年3月11日(木)【パブリックコメント前に実施】

2) 御意見等の概要及び県の考え方

	機 関	御意見の概要	県の考え方
1	みちづくり評議会 (2/16)	広域道路ネットワーク <ul style="list-style-type: none"> ダブルネットワークは災害時に役に立つ。 避難のアナウンスなど、ソフト対策にも取り組んでもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 直轄国道とのダブルネットワークの考えを踏まえ、広域道路ネットワーク計画を策定しました(計画P7)。 道の駅の防災機能の一環としてソフト対策に記載しました(計画P11)。市町村等とも連携しながら取り組んでまいります。
		防災拠点 <ul style="list-style-type: none"> 災害の多い最上地方へ防災道の駅の整備をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 最上地方に防災道の駅の構想箇所として追記しました(計画P13)。
2	東北芸術工科大学 吉田先生 (3/4)	計画全般 <ul style="list-style-type: none"> 山形の実情が分かる計画にしてほしい。 山形の道路は安全性が高いと言われるような道路整備を行ってほしい。 山形は自動車分担率が高いので、自動運転を使った街づくりも検討されたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジョンの中で雪の話など山形の実情を盛り込みました(ビジョンP43等)。 高規格道路と一般広域道路のダブルネットワーク化を行い、安全性が高まるような道路整備をとるよう計画に盛り込みました(計画P6)。 ICT 交通マネジメント計画の中で、自動運転の取り組みの促進を記載しました(計画P15)。
3	山形県バス協会 (3/5)	高規格道路について <ul style="list-style-type: none"> 太平洋側と日本海側の結びつき、宮城県との結びつきを強くしたい。そのためには山形道、R48、R47の3本のルートが大切。 月山道路は、冬、ホワイトアウトして危ない。他県の人から危ない道路という認識を持たれるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見の内容を踏まえ広域道路ネットワーク計画を策定しました(計画P7)。 月山道路については、構想路線として位置づけ必要な検討を行うこととしました(計画P7)。
4	山形県トラック協会 (3/9)	高規格道路について <ul style="list-style-type: none"> 高速道路のミッシングリンク解消に努めてほしい。また、縦断勾配5%はトラックにとっては急勾配。特に冬期間は厳しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き高速道路のミッシングリンク解消に努めてまいります。また、縦断勾配の厳しい月山道路(月山IC～湯殿山IC間)につい

			ては、構想路線として位置づけが必要な検討を行うこととしました（計画 P7）。
		防災拠点について <ul style="list-style-type: none"> 道の駅を防災拠点に使うには、トラックの入れる広い駐車場と、資材受け渡しの倉庫があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点計画の中で、市町村等と調整を行いながら整備することを明記しました（計画 P11）。
		自動運転について <ul style="list-style-type: none"> 自動運転に向けた取り組みが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT 交通マネジメント計画の中で、自動運転の取り組みの促進を記載しました（計画 P15）。
5	国土交通省酒田港湾事務所（文書）	高規格道路ネットワーク <ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時には、日本海側と太平洋側の港湾で補完することが想定されるため、太平洋側までの広域物流ネットワークを確保する必要がある。 クルーズ船を支える道路としても酒田港からの 90 分圏域を広げ、银山温泉やさくらんぼ狩りも訪問先とできるよう、道路ネットワークの強化が必要。 月山道路は急勾配で大型トレーラーの走行が厳しい等の課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 御意見の内容を踏まえ、隣県とも調整の上、広域道路ネットワーク計画を策定しました。引き続き高速道路ネットワークの整備に努めてまいります（計画 P7）。 縦断勾配の厳しい月山道路（月山 IC～湯殿山 IC 間）については、構想路線として位置づけが必要な検討を行うこととしました。
6	陸上自衛隊第六師団（3/11）	防災拠点について <ul style="list-style-type: none"> 災害拠点となるよう、駐車場の縁石（車止め）が無いが、可動式のものの方が良い。また、歩行空間も緊急車両が通れるように、車止めを取り外し式にしたほうが良い。 緊急時に部隊が留まる際、芝生の部分があったほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災拠点計画に、これらの検討についても追記しました（計画 P11）。
7	県防災危機管理課（3/1）	防災拠点について <ul style="list-style-type: none"> 他県からの救援を考えた場合、温海地区や新庄に防災道の駅があるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 温海地区に関しては、鶴岡市と調整の上、防災道の駅の整備検討箇所として記載しました。また、最上地方については、防災道の駅の構想箇所として追記しました（計画 P13）。